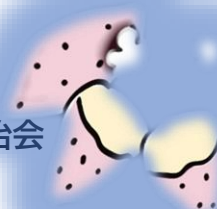


小岩井自治会会報

もりっこ

第96号

発行 / 小岩井自治会
編集 / 文化部
発行日 / 令和7年12月1日



突然の災害に備えて！



AEDを活用した救急救命訓練

令和7年度小岩井自治会防災訓練が9月7日(日)小岩井地区コミュニティセンターで実施されました。地域住民など27人が参加。AEDを使った救急救命訓練のほか、避難所でのテントや段ボールベットの組み立て訓練などが行われました。参加された皆さんは、いざというときの為に真剣に取り組んでいました。

令和7年度防災訓練が行われました

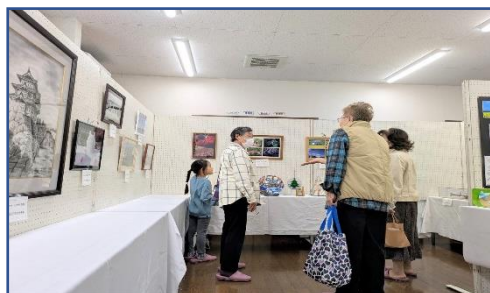


段ボールベットや防災用テントの組み立てを学びました



小岩井自治会文化祭

作品の出来映えに感銘



恒例の秋の自治会文化祭が、令和 7 年 11 月 1 日、2 日に小岩井地区コミュニティセンターで開かれました。ふうりん保育園の園児や小学生、中学生、一般の皆さんに加え介護施設ベルヴェーレ入所者の皆さんからの作品など 430 点が出展されました。子どもたちの紙工作や中学生による書道のほか七宝焼き、スタンドグラス、人形、写真、絵画などが所狭しと展示され、2 日間で延べ 1 7 4 人ほどが訪れ、多くの皆さんがその出来栄に感心していました。このほか、喫茶コーナーや野菜の直販所も設けられ好評でした。



新鮮で安さが売りの産直

小岩井駅、国登録有形文化財に登録
式典とイベントでお祝いムード

10 月 4 日（土）小岩井駅本屋（駅舎）の国登録有形文化財記念式典が行われました。これに合わせて、小岩井自治会では駅前広場と駅交流スペースで「こいおい駅のまつり

だよ」を開催しました。

主な内容は子供と大学生の郷土料理作りとふるまい、大型紙芝居、ミニ縁日、屋台など。式典やイベントには多くの家族連れが訪れ地域ぐるみで登録を祝いました。駅舎は 8 月 6 日に国登録有形文化財に登録され、滝沢市の施設としては初めてです。

なお、この日は、I B C ラジオも協賛事業として「こいおいウォーク」を開催、市内外から多くの人が参加し小岩井駅周辺は 1 日お祝いムードに包まれました。

ファミリーハイキング

御所野遺跡

秋空のもと世界遺産を探訪

10月19日(日) 今年も、自治会、地域づくり合同のファミリーハイキングを開催しました。市職員含め総勢 39 名。一路世界遺産「御所野遺跡」へ。広大な芝生と凛としている樹木。そして木々の恵みがそこかしこに。自然の恵みを満喫する食、自然のものを使って雨露をしのぐ住。自然の恩恵からの衣、先人たちの自然とともに暮らした姿を再現した遺跡。宇宙の中に漂っている思いがしました。

滝沢市の遺跡も同じ感覚をもたらしてくれます。火を使い、自然のものを加工し自然とともに生活してきたスタイル。参加者のほとんどの人が同じように火を使い煮炊きしてきた世代であることがふと頭をよぎりました。

現在は火を使うこともなくマッチは遺物となってしまいました。まさしく、火を使って煮炊きし火の恩恵を受け、



自然とともに生きてきた世代が今回の参加者でした。(1名だけ 20 代。火を使って煮炊きするのはキャンプぐらい)

見学を終えてしみじみ「俺は最後の縄文人だ!」。そして、歴史の転換点に今生きていることを実感したのでした。

こうした思いに浸れたのもガイドさんの丁寧な説明の賜物。でも気になったのは、ガイドさんの背中にはランドセルが? 「どうして背中にランドセルが???」 来年も実施します。たくさんの方の参加を待っています。 事務局小田島清美氏・記

こいわいスタンプラリー

5か所のチェックポイントを巡る

10月5日(日)小岩井スタンプラリーが開催されました。子供会育成会が主催。小岩井地区の広さを感じながら駅南ご線橋口や第2公民館など5か所のチェックポイントを元気よく巡り歩きゴールを目指しました。参加者 97 人と、去年よりは減少しましたが大盛況に終わりました。子供たちの見守り等ご協力大変ありがとうございました。



チェックポイントの産直ふうりん娘

市民体育祭(中期) 残念な結果に

第 8 回滝沢市民体育祭(中期)が9月21日(日)に開催されました。スローピッチソフトボールは荒天のため中止。駅伝の部は選手が集まらず小岩井地区は不参加となりました。例年好成績を収めていただけに残念な結果となりました。

後期種目「卓球」は12月14日(日)に予定されています。選手の皆さん、応援しています。

老人クラブ輪投げ大会

ふうりん会Aが優勝

7月2日(水)滝沢総合公園体育館で「第25回滝沢市老人クラブ輪投げ大会」が開催されました。団体の部でふうりん会Aが見事優勝を飾りました。猛暑のなか、日ごろ積み重ねてきた練習の成果が結実されてのことと思います。本当におめでとうございます。



【こいわい地域この人コーナー】

小岩井に住んで感じたこと



1班 野田坂 伸也さん



私は30歳を少し過ぎたころ小岩井農牧株式会社に就職し、それから50年以上小岩井に住んでいます。もっとも、私の家は小岩井駅から5km以上離れた山の中の一軒家ですから、小岩井駅周辺やその近辺にお住まいの方で友人、知り合いと言える人は10人を少し超える程度しかおりません。

50年前に小岩井駅周辺に住んでおられた方々は、たぶん小岩井農場に勤務していた人や昔からここに土地を持っていた人達だったでしょうが、駅のすぐ近くに製材工場があったのが現在とは非常に大きな違いです。製材工場が廃業して道路ができたことによって駅周辺には住宅が増えたのですが、そのほとんどは盛岡などに職場がある人達の住宅でしょうから様々な職業の人々が集まってきて、お互いにどんな人なのか知らないという環境に代わりました。

そのような状況になった時に非常に大きな役割を果たすようになったのが自治会だと思います。昔の田舎のように住人同士がほとんど知り合いだったころとは全く異なる環境になり、そのままではおそらく住みにくい街になったに違いない小岩井“町”を先代の自治会長が多くの革新的な改革によって、多くの方々が助け合って暮らしていける町に成長させてくださいました。それを現在の自治会が受け継いで活動してくださっています。自治会の中でも、外でも女性が活発に活動しておられるのも日本の社会が変化していることを感じさせられます。

最近の事業では、小岩井駅舎が新しく素敵な建物に生まれ変わったことが、小岩井地区のシンボルとして大きな出来事でした。外観だけではなく気持ちよく休憩できるスペースもありこれが駅舎かと驚きます。

ただし、最近次々と出現する住宅や施設の中には小岩井地区を美しい場所にしようというような思想が全然ないものが多いのは残念です。

また、住宅は近代的でしゃれた外観であるにもかかわらず、その周りは碎石を敷いてあるだけの殺風景なところが多いのも情けないです。特に、若い人たちは住宅にはこだわなのに周囲の環境の美しさ、については無頓着なことは非常に残念です。日本の庶民は住宅の周りに快適で美しい環境を作るといった思想がないままに育ちましたからやむを得ないとは思いますが、これからでも改良できることですからぜひ考えてほしいです。

スノーバスターズ大募集



「かざばやしゆいの会」では、予想される大雪に備え、例年地域住民によるスノーバスターズ(雪かき隊)の活動を行っています。地域内で雪かきに困っている高齢者等の方々のために一緒に汗をかいてみませんか。

活動内容は、主としてスコップ等での手作業です。スコップ、ツルハシ、スノーダンプ等は各自ご用意願います。ご協力いただける方は令和7年12月12日までに自治会担当者にお申し込みください。

編集後記

最近、クマが住宅地にも頻繁に出没。県内で死亡事故も出ています。取材やウォーキング中などでクマに出会わないかと心配する毎日です。

冬になってもなかなか冬眠せずにエサを求めてウロつくクマもいるようです。くれぐれもご用心を。

編集スタッフ一同